



市名「小郡」の由来

「筑後小郡」の名は、持統天皇3年(689年)6月新羅の使者金道那を「饗応した」客館として日本書紀にみられます。

小郡市は、往古の筑紫平野の北に位置し、太宰府に近く、博多へ通じる交通の要衝を占め、小郡市中心部(向築地)からは当時の官衙跡が発掘され「小郡官衙遺跡」として国の指定を受けています。その軍事的・地理的特殊性から往時の太宰府客館所在地、また地方官庁所在地として小郡の地名が残り、今に伝えられています。

「小郡市」が生まれて40年。生年月日は1972年4月1日。人生に例えるならば青年期から壮年の域に達するころとなりました。いろいろなことがありました。この40年の歴史の中で、この「小郡市」も着実に発展を遂げてきました。ここでは、この40年間の思い出と歴史を振り返ります。

小郡のあゆみ☆☆☆

市制施行以前の歴史☆☆

約2000年前 (弥生時代中期)	大板井遺跡(大集落)、小郡若山遺跡(多鈕細文鏡)、横隈狐塚遺跡(共同墓地)
4世紀ごろ(古墳時代)	津古生掛古墳、三国の鼻1号墳(前方後円墳)、津古1・2号墳(前方後円墳)
6世紀ごろ(古墳時代)	三国丘陵・花立山麓に群集墳
7世紀ごろ(白鳳時代)	上岩田・井上に大寺院
7世紀ごろ(奈良時代)	小郡官衙遺跡(郡役所)
1359年(室町時代)	大保原合戦
1374年(室町時代)	福童原の戦い
1624年(江戸時代)	石井堰築造(干潟)
1647年(江戸時代)	稲吉堰築造
1668年(江戸時代)	有馬豊範に松崎藩1万石を分地、松崎宿設置
1673年(江戸時代)	津古堰築造
1754年(江戸時代)	宝曆の農民一揆
1772年(江戸時代)	大板井堰築造
1848年(江戸時代)	端間堰築造
1869年(明治2年)	古屋佐久左衛門没(幕府軍歩兵指南役)
1874年(明治7年)	松崎郵便取扱所設置、小郡郵便取扱所(のちの小郡郵便局)設置
1876年(明治9年)	松崎巡查屯所設置
1877年(明治10年)	乙隈彼岸土居の戦い
1888年(明治21年)	久留米治安裁判所松崎出張所(のちの福岡法務局三井出張所)設置
1889年(明治22年)	味坂村、小郡村、御原村、立石村、三国村が成立
1914年(大正3年)	松崎実業女学校(のちの三井高等学校)開校、送電開始(小郡)
1916年(大正5年)	高松凌雲没(日本赤十字運動の祖)
1918年(大正7年)	電話開通(三国)
1921年(大正10年)	中央軌道松崎～小郡開通
1924年(大正13年)	九州鉄道(のちの西日本鉄道)福岡～久留米開通
1938年(昭和13年)	国鉄甘木線開通
1941年(昭和16年)	県種畜場完成(三沢)
1947年(昭和22年)	大原中学校、立石中学校、宝城中学校開校
1948年(昭和23年)	農業協同組合(各村)設立、三国保育所開所、消防団設置
1953年(昭和28年)	筑後川大水害、保安隊小郡駐屯地設立、御原保育所開所、小郡村が町制施行し、小郡町へ
1954年(昭和29年)	城山公園開園
1955年(昭和30年)	小郡町発足(一町四村合併)
1956年(昭和31年)	三沢ピクニックセンター開園
1958年(昭和33年)	有線放送開始
1961年(昭和36年)	商工会(町)設立
1962年(昭和37年)	町役場新築移転(現在地)
1963年(昭和38年)	宝満川大水害
1964年(昭和39年)	農業協同組合(町)設立
1967年(昭和42年)	福岡小郡電報電話局開局
1968年(昭和43年)	体育協会(町)結成、社会福祉協議会(町)認可
1970年(昭和45年)	中央公民館新築
1971年(昭和46年)	学校給食センター完成、小郡官衙遺跡国史跡指定、文化協会(町)発足

小郡市の歴史☆☆

1972年(昭和47年)	市制施行、小郡幼稚園開園、大原小学校開校、三井消防署開署、第1回市民花火大会
1974年(昭和49年)	市体育館完成、農協会館完成、第1回小郡農業まつり
1975年(昭和50年)	三国幼稚園、宝城幼稚園開園、大板井橋開通
1976年(昭和51年)	柔剣道場、市民プール完成
1977年(昭和52年)	三井水道企業団設立、市民館(隣保館)完成、弓道場完成
1978年(昭和53年)	小郡市夜須町清掃センター完成、第1回市民まつり
1979年(昭和54年)	簡保レクセンター開園、大崎教育集会所完成、小郡養護学校開校
1980年(昭和55年)	小郡中学校開校、老人福祉センター完成、市営駅前団地完成
1981年(昭和56年)	三国保育所新築、大保原児童公園完成
1982年(昭和57年)	大崎保育所開所、育苗センター(農政共同作業所)完成、市の木「くすのき」・花「ふじ」・鳥「しらさぎ」制定、市制施行10周年
1983年(昭和58年)	大原公園開園、市青少年育成市民会議発足
1984年(昭和59年)	宝満環境センター完成、小郡高等学校開校、鬼川原橋架替開通、「非核恒久平和都市」宣言
1985年(昭和60年)	埋蔵文化財調査センター完成
1986年(昭和61年)	小郡地区コミュニティセンター(健康センター)完成、甘木鉄道(旧国鉄甘木線)第3セクター開業、老人福祉センター完成
1987年(昭和62年)	九州横断自動車道開通、筑後小郡インター完成、小郡市市歌発表、小郡市民ふれあい広場(文化会館、市立図書館、野田宇太郎文学資料館、文学散歩公園)完成
1988年(昭和63年)	農産加工センター完成、宝満川浄化センター完成、荒木久美選手ソウル五輪女子マラソン出場、三井消防署三国出張所開所
1989年(平成元年)	大原リハビリセンター完成、第1回野田宇太郎生誕祭、七夕通り(原田駅大崎線)一部開通
1990年(平成2年)	小郡三井医師会休日診療地域医療センター完成、とびうめ国体(少年スポーツ大会)開催、小郡警察署開署、市民まつりを「市民まつり七夕さん」に改称、第1回小郡市民文化祭
1991年(平成3年)	シルバー人材センター設立、東野小学校開校、味坂校区公民館完成、市史編さん事業開始、二タ集会所完成、きらめきの塔設置(西鉄小郡駅前広場)、生涯学習推進センター開設、みい農協発足
1992年(平成4年)	東野地域運動広場完成、県南食肉センター完成、西鉄三国が丘駅開駅、学童保育所開設開始、市制施行20周年
1993年(平成5年)	御原校区公民館完成、御原教育集会所完成、七夕会館完成、河北苑完成、干潟地区工業団地分譲開始、第1回小郡市民音楽祭(のちの小郡音楽祭)
1994年(平成6年)	陸上競技場完成、三国中学校開校、第1回小郡市民ふれあい運動会



昭和46年(1971年)西鉄小郡駅

市制施行行事

小郡市民ふれあい広場

市民まつり七夕さん

三国が丘駅

小郡運動公園